

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 12 月 2 日 (2022.12.2)

【公開番号】特開 2022-171666 (P2022-171666A)

【公開日】令和 4 年 11 月 11 日 (2022.11.11)

【年通号数】公開公報 (特許) 2022-208

【出願番号】特願 2022-130220 (P2022-130220)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

10

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/428 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【F I】

20

A 6 1 K 31/352

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 31/428

A 6 1 P 21/04

A 6 1 K 45/00

30

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 24 日 (2022.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

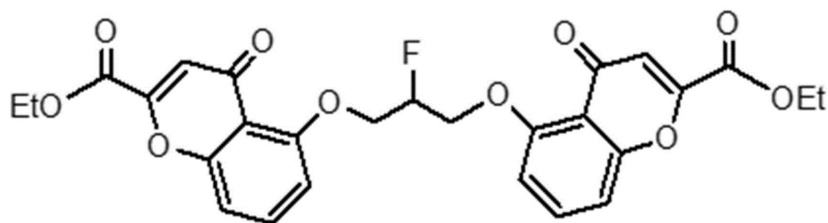
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

40

筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、ハンチントン病 (HD)、パーキンソン病 (PD) および虚血性脳卒中から選択されるニューロン炎症状態を治療するための、下記式を有する化合物を含む医薬組成物。

【化 1】



F-E T-クロモリン

【請求項 2】

10

前記ニューロン炎症状態が筋萎縮性側索硬化症（ALS）である、請求項 1 に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項 3】

前記ニューロン炎症がハンチントン病（HD）である、請求項 1 に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項 4】

前記ニューロン炎症状態がパーキンソン病（PD）である、請求項 1 に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項 5】

前記ニューロン炎症状態が虚血性脳卒中である、請求項 1 に記載の治療するための医薬組成物。

20

【請求項 6】

前記組成物が、CD4+；siRNA；ALSを寛解させるmiRNA；グリア形態修飾剤；SOD1制御薬；およびリルゾールから選択される第2の化合物をさらに含む、請求項 2 に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項 7】

前記方法が、ALSを寛解させる抗体標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 2 に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項 8】

前記方法が、ALSを寛解させる抗炎症標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 2 に記載の治療するための医薬組成物。

30

【請求項 9】

前記組成物が、アミロイドーシスまたはタウオパチーに関連する神経変性を寛解させる標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1～8の何れか1項に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項 10】

前記組成物が、PDを寛解させるシヌクレイン標的薬およびPDを寛解させるパーキンソン病の標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 4 に記載の治療するための医薬組成物。

40